

# 日進市子どもの社会参加に関するガイドライン

(じえねぷろ監修)

(イメージ)

## 1 はじめに

日進市では平成 22 年 4 月に「日進市未来をつくる子ども条例」を施行しました。

その取り組みの一環として、今回、子どもの社会参加に関するガイドラインを作成することになりました。このガイドラインは子どもの権利を守りながら、子ども達が自主的に活動し、参加できるように、本市としての基本的な考え方や注意点などをまとめたものです。

子どもに関わる支援者向けに作成しましたので、日々の活動の参考としてください。

## 2 子どもの社会参加に向けて

### (1) 子どもの「声」に耳を傾ける

子どもは、年齢や発達段階などに応じて、大人とは違った能力や視点、視野等を持っています。大人との違いを理解する子どもの視線に立つためにも、まずは子ども達の声に耳を傾けてみませんか。

### (2) 子どもが「参加」できる場をつくる

本市の未来をつくる子ども条例では、社会参画に向けて子ども達が主体的に活動する段階を目指しています。そのためには、子どもの参画に対する大人の理解や取り組みが重要な役割となります。

地域では、子どもが参加する様々な活動や取り組みがありますが、大人がすべて準備し、子どもに参加させていないでしょうか。子ども達の成長のために、主体者として参加する機会を考えてみませんか。

段階		参画状況
8.子ども主導の活動に大人も巻き込む	子どもが主体的に活動する段階で、最も望ましい参画の状況（未来をつくる子ども条例でめざすもの）	参画の段階
7.子ども主導の活動		
6.大人主導で意思決定に子どもも参画	大人による活動提供であるが、子どもの役割を説明し、意見を尊重しながら行う活動。子どもの主体的な参画に向けた訓練に相当する段階です。	
5.大人主導で子どもの意見提供ある参画		
4.与えられた役割の内容を認識した上で参画		
3.形式的参画	子どもの意思に関係なく、大人により活動に参加又は登場させ、子どもが自主的に参加又は賛同しているように見せかける活動で、参画とは言えない。	
2.お飾り参画		
1.操り参画		

「ロージャー・ハートの参画のはしご」より

### (3) 地域全体で「協力」する

かつて地域では様々な大人への通過儀礼の伝統行事があり、それが地域の子どもの社会参加の機会を担っていました。しかし、少子化や核家族化が進み、地域コミュニティが衰退する中で、昔のような環境に戻ることはできませんが、子どもの成長に必要な環境を維持・確保していく役割は、地域に住む大人達の役割でもあります。

子どもの社会参加には、子どもを取り巻く大人周りのサポートが欠かせません。子どもが重大な危険を犯すことがないように大人の配慮や見守りは必要ですが、子どもが越えなければならない山にトンネルを通すのではなく、自らの力で山を越えられるようにサポートすることが必要ではないでしょうか。

子ども達をサポートしていくためには、知識やスキルも必要かもしれませんが、何より子どもの本来持つ力と可能性を信頼する姿勢が求められます。

### 3 子どもが参加するためのステップ

子どもの成長を望まない人はいません。地域で子どもの成長を見守っていくためにも子どもの参画を広げる一歩を踏み出してみませんか？

まずは、それぞれの団体や機関などがイベントや活動をはじめる前に、  
子どもの参画についてチェックしてみましょう！

どんなことに注意が必要？

こんな視点からも考えてみよう！

企画段階

- ・子どもと一緒に何ができる？
- ・参画する子どもはいくつ？
- ・どの様に意見を聞きますか？

団体やグループの中で、まずは日頃の活動を振り返ってみましょう！

- ・子どもの意見を聞いていますか？
- ・大人側の都合だけで物事を決めていませんか？

検討段階

- ・子どもをどう募集する？
- ・どう子どもに説明する？
- ・参画ってよく判らない？ 誰か相談にのってくれる？

子育てにマニュアルがないように、子どもの参加にも正解はありません。

- ・子ども達の意見を尊重していますか？
- ・最初から意見がないと決め付けていませんか？
- ・市役所や社会福祉協議会などにご相談ください

準備段階

- ・参画するこどもに十分に説明しましたか？
- ・子どもの役割は明確ですか？
- ・こどもが達成感を感じられる工夫、していますか？

準備ってつまらないよね。でも、だから達成感の経験が大事。

- ・役割をすぐに理解できる子・できない子がいます。でもそれが個性。説明は根気よく何度でも。
- ・安全確保は大人の役割。無理な難しいことはちゃんと説明を！

実施(当日)

- ・こどもの役割確認は大丈夫？
- ・スケジュール管理等は大人がフォローを。

親の心配はあたりまえ。見守るって本当に大変ですね。でも挑戦は子どもの財産！

- ・自分の手で達成できて、本当の喜びが味わえます。大人は黒子に徹しましょう！

検証段階

- ・アンケートは集めましたか？
- ・反省点は何でしたか？
- ・よかったことは何でしたか？

振り返りで色々な発見があるかも。

- ・失敗はダメなこと？いえ、成功の母です。
- ・こども達は大人の関わり方をどう思ったのでしょうか？

すでにこうした取り組みを行っている団体や機関も多いと思います。

でも、子ども達はどう感じているのでしょうか。

まずはほんの少しからで構いません。子どもの声に耳を傾けてみませんか。

## 日進市未来をつくる子ども条例（平成21年日進市条例第24号）

（前文）

子どもは、社会の一員として仲間や大人とともに、よりよい未来をつくっていくことができる大切な存在です。

子どもたちは、次のように語ります。

「私たちは、いろいろなことを知り、学び、選び、目標に向かいチャレンジすることができます。

そのために必要な力を借りることもできます。

そして、夢をかなえることができます。

私たちは、大人のために利用されることはなく、気持ちや考えを言うことができます。

私たちに、助けてくれる人たち、支えてくれる人たちがいます。

私たちは、大切にされ、安全で、安心なまちに住むことができます。

私たちは、みんな仲間です。

お互いに受けとめ合い、協力することができます。

悩みを相談したり、助けを求めたりもできます。

生きていることが楽しいと思えることは、あたり前ではなく、とても素晴らしいことです。

私たちは、お互いの自由と権利を大切に、ともに生きていたいと願います。

私たちは知ってほしい。守られていない権利があることを。

だから、この条例を知ってほしい。」

日進市とともに暮らす私たち市民は、子どもの権利や参加の機会を保障することが、子どもにとってやさしいまちづくりにつながると考え、この条例を定めます。

第1章 総則（第1条―第3条）

第2章 子どもの大切な権利（第4条―第14条）

第3章 大人による子どもの権利保障（第15条―第19条）

第4章 子どもにやさしいまちづくりの推進（第20条―第27条）

第5章 子どもの権利侵害からの救済及び回復（第28条―第30条）

第6章 雑則（第31条）

詳しくは市HPをご覧ください。

[http://www.city.nisshin.lg.jp/fukushi/kosodate/kodomo\\_jourei/index.html](http://www.city.nisshin.lg.jp/fukushi/kosodate/kodomo_jourei/index.html)

#### 4 おわりに ～調査等のお願い～

子どもに関わる事柄に対して当事者の参加が保障されることは、自律した市民社会の将来を築く上でも大事なことです。また、地域において行われる子どもの社会参加の活動が、子どもの社会参加をしない場合とした場合でどういう効果が得られたかなど、しっかりと記録と評価を行い、次の事業の展開の基礎としていく必要があります。

また、行政においても、未来をつくる子ども条例を共有し、子どもに関連する事業の評価や検証、改善につなげていくためにも、地域の活動が子どもにどのような影響があるか、アセスメントをしていく必要があると考えています。必要に応じて、地域の各団体や関係者の皆様に活動に関する調査等を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、このガイドラインについてご意見等があれば下記まで遠慮なくお知らせください。

製作：日進市こども福祉部子育て支援課 監修：じえねぶろ

電話 0561-73-1049/FAX0561-72-4603/メール kosodateshien@city.nisshin.lg.jp